

☆留学生便り(51)☆

エストニア・タリンでのロシア語使用状況

立岩 優里

エストニアの公用語はエストニア語です。エストニア語は、ヨーロッパ諸言語とは類似性が少ないそうです。ヨーロッパの諸言語は比較的似ているため、3か国語や4か国語を習得するのは特別珍しいことでもないと言われますが、エストニア語はフィンランド語と同様、ヨーロッパの人々が習得するのも難しいと分類される例外的な言語です（個人的にはハワイ語に少し似ているように感じたほどです）。ですが、エストニアはソ連邦の統治下にあった歴史から、ご存知のようにロシア語を話す、もしくは話すことができる人々が現在でも多く存在します。

現在、エストニア国内においてロシア語を使う人は、やはり母語がロシア語のケースが多いです。そして、ロシア語の使用割合は、エストニア内でも地域によって変わってきます。ロシア語を話す割合が特に多いといわれる地域が北東部に存在し、私の過ごした首都タリンでも、ソ連時にロシアから多くの人々が移住したため、そのような人々やその子供たちは、現在でも日常でロシア語を使用している人が多いです。そのため、エストニア内でも、エストニア語を話せない人も一定数存在します。裏を返せば、それでも生活できる程、国内においてロシア語の大きなコミュニティが存在するという事です。

ですが、公用語がエストニア語になって以降、母語がロシア語の子供たちはエストニア語を習得できるよう教育を受けます。エストニア語をどの程度習得できるかは、入学した学校や個人の努力で差はあるようですが、若い世代についてはエストニア語を全く話せないという人はまずいないでしょう。

ちなみに現在、エストニアの公教育では、エストニア語の学校とロシア語の学校があります。ロシア語を母語とする学生の中でも、エストニア語の学校で学んだという学生もいました。このようなエストニア語とロシア語を同程度使える人々が増えていくと、さらに次の世代ではロシア語の使用率はまた下がっていくの

かもしれません。ちなみに、政府は成人に向けても無料でエストニア語の授業を開催していますし、やはり就労等を考えると、エストニア語を最低限使えることは重要だと見受けられます。

さて、話は戻り、私の滞在していた首都タリンでは、ロシア語を話す人々が想像していたよりも多かったです。市中で耳を傾けるとロシア語しか聞こえないという状況もありましたし、ロシア語を話す人しか働いていないと言われるスーパーやマーケットもありました。

私自身もエストニア語は全く分かりませんが、ロシア語が出来れば最低限生活はできると本当に感じた程です。エストニア語が分からず少し困ったことは、食品表示です。大抵の場合、英語もしくはロシア語表記があるのですが（これは日本から来た当初驚きました）、稀に無い場合もあります。ですが、食品はEU内で流通しているため、同じキリル文字のブルガリア語の表記欄を見れば何とかできるということが何回もありました。

現在、ウクライナ戦争の開始から一年が経ちますが、エストニア国内におけるロシア語の使用に何か変化はあるのでしょうか。私はエストニアに来る前にロシア語使用が減少している話を耳にしたので、あまり外では喋ってはいけない雰囲気なのかなと思っていました。ですが、先ほども述べたように、タリンにおいてはロシア語の使用は多いです。エストニアにいるウクライナの人々から、ロシア語を話したくないと言われることも殆どありませんでした。

エストニアに住んでいる人々からみると如何にも「よそ者」の私が、一旦ロシア語を口にすると、想定外と言わんばかりに一度は驚かれます。ですが、言語というのは人と人とを結びつけるものですので、英語ではなくむしろ頑張ってロシア語で話しかける方が好意的に接してもらえらることの方が多かったです。